

友善食農特展および国際シンポジウム ～コウノトリ野生復帰の取組みを世界に発信～

中華民国(台湾)の国立台湾大学が主催する「友善食農特展」に出展する。また、同大学で開催されるシンポジウムへの講演依頼を受けたため、コウノトリ野生復帰の取組みについて世界に発信する。

1 特別展の概要

生態系の頂点に立つ鳥と環境に配慮した農業に関する特別展である。三つの食農教育をテーマにして、環境にやさしい農業について考える。

(1) 名称

企画展示「飛鳥踏田ー環境に優しい食と農」
フェイニャオタティエン

(2) 場所

国立台湾大学農業ミュージアム

(3) 入場料

無料

(4) 期間

2019年10月1日(火)～2019年12月21日(土)

※12月22日以降、2020年3月(日にちは未定)まで規模を縮小して展示する(予定)。

(5) 三つの食農教育(テーマ)

- ア 台湾屏東(ピントン)の「トビの小豆」
 - イ 台湾宜蘭(イーラン)の「タマシギ育むお米」
 - ウ 日本の「コウノトリ育む農法」
- ※ 詳細は、別紙チラシ(翻訳)を参照。

(6) 本市の出展内容

ア パネル展示

コウノトリ野生復帰、コウノトリ育む農法、豊岡市の観光情報の展示

イ 映像の放映(メインスクリーン)

ラムサール条約湿地「円山川下流域・周辺水田」、「コウノトリと共に生きる(NHK エンタープライズ制作)」の放映

ウ ミニ動画の放映(PC)

コウノトリの説明、コウノトリ育む農法の説明、豊岡で行っている環境教育の紹介

※ 出展料は無料である。

2 シンポジウムの概要

(1) 名称

飛鳥踏田国際シンポジウム

(2) 場所

国立台湾大学霖澤館(リンゼホール) 1階 国際会議センター

(3) 日時

2019年10月1日(火) 午後1時～5時30分(予定)

(4) 内容

ア 講演

- (ア) 中華民国農糧署 胡 忠一(フー ジョンイ) 署長 「台湾内の農業事情」
- (イ) 東京大学 橋本 禅 教授 「食農教育」
- (ウ) 豊岡市長 「コウノトリ野生復帰と農業」
- (エ) コウノトリ文化館 高橋 信 館長 「環境教育」

イ 事例紹介

台湾国内の環境配慮型農業

ウ パネルディスカッション

3 渡航者

市長、コウノトリ文化館館長、市職員2人

《参考》

全体スケジュール

日 程	内 容	場 所
9月30日(月)	関西空港 ⇒ <small>タオエン</small> 桃園空港(中華民国)	
10月1日(火)	(1) 展示オープニング式典 (2) シンポジウム	台北市
2日(水)	台湾国内における環境配慮型農業地の視察	<small>ピンリン</small> 坪林区ほか
3日(木)	桃園空港 ⇒ 関西空港	

[問合せ] 豊岡市コウノトリ共生部コウノトリ共生課 TEL 0796-21-9017